

**穴吹不動産流通(株)鹿児島店****「市況レポート(2020年11月)」**

～2020年11月9日 日本銀行鹿児島支店 鹿児島県金融経済概況より～

**【概要】**

- ・鹿児島県の景気は、引き続き厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。
- ・すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、全体として緩やかに持ち直している。観光は、厳しい状況にあるものの、持ち直している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。生産は持ち直しつつある。
- ・企業部門の動向を短観（9月＜鹿児島・宮崎両県集計分＞）で見ると、景況感は、大幅に悪化した状態にある。設備投資は、高水準で推移している。こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。

**【各論】****1. 個人消費**

百貨店・スーパー販売額と家電販売額は、前年を下回った。乗用車新車登録台数（含む軽自動車）は、前年を下回って推移している。

**2. 観光**

主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を下回って推移している。

**3. 公共投資**

公共工事請負金額は、前年を下回って推移している。

**4. 住宅投資**

新設住宅着工戸数は、持家を中心に前年を下回った。

**5. 生産**

鉱工業生産指数（季節調整済）は、食料品、電子部品・デバイスを中心に前月を上回った。

## 6. 雇用・所得環境

有効求人倍率（季節調整済）は、横ばいとなった。

現金給与総額は、前年を上回って推移している。

常用労働者数は、前年を下回って推移している。

## 7. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を下回って推移している。

## 8. 金融面

預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、緩やかな低下が続いている。

企業倒産件数は、低水準で推移している。

以上

~~~~~

## 【まとめ】

鹿児島県金融経済概況の概要によると、全体的に緩やかに持ち直していますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大によっては、外出自粛制限等の措置がとられ、経済に影響を及ぼすことが考えられます。

これから不動産売買の繁忙期を迎えますが、エリアにより売買価格や需要と供給のバランスが異なります。

ご所有の不動産について売却等の計画や、新たに物件購入の計画がありましたら、是非一度あなぶき不動産流通にご相談ください。